

NEWS RELEASE

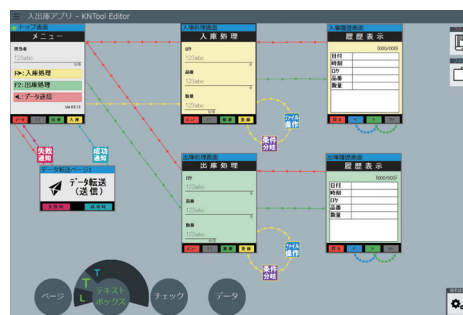
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
キヤノン電子株式会社

小型・軽量、ユニバーサルデザインで操作性を向上した スキャナー一体型ハンディターミナル“PRea ST-150”と 簡単業務アプリ開発ツール“KNTool”を発売

キヤノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長:坂田 正弘、以下キヤノンMJ)は、キヤノン電子株式会社(代表取締役社長:酒巻 久)製の新製品として、スキャナー一体型ハンディターミナル“PRea(プレア)ST-150”と、PRea STシリーズ対応の簡単業務アプリ開発ツール“KNTool(ケーエヌツール)”を2020年9月7日より発売します。



PRea ST-150



KNTool(画面イメージ図)

経済や社会環境が大きく変化する中、多様化するニーズや人手不足などの課題に対応するため、ITを活用したシステム化、自動化による業務効率化や生産性の向上を進める企業が増えています。例えば、流通・小売り業界では、在庫や売り上げのデータをリアルタイムに把握し、在庫の計画精度を向上させるなど現場のデータと業務システムを柔軟に連携できるシステムの活用が急速に進められています。

こうした環境の中、流通/小売/製造/医療など幅広い業種における入在庫や検品、棚卸などの業務を短期間で低コストでシステム化し、業務効率化を実現する“PRea ST-150”とアプリケーション開発ツール“KNTool”を発売します。

■ 小型・軽量のエントリーモデル

“PRea ST-150”は、バーコード読取りに必要な機能を絞ることで、小型・軽量を追求したエントリーモデルです。視認性の高いオレンジ色のフレームと、長時間の操作にも疲れにくい軽さと手袋を付けたままでも操作しやすいボタン設計により、使いやすさを追求しました。本体には抗菌素材を採用しており菌の繁殖を抑制します。屋外での落下なども想定し、高い堅牢性、耐久性を実現しています。

■ アプリケーション開発を低コスト・短期間で実現

“KNTool”は、プログラミングスキルを必要とせず、ハンディターミナルを使用した業務アプリケーションを誰でも簡単に開発できるツールです。アプリケーションをドラッグ&ドロップで簡単に作成でき、プログラミングスキルが不要なく、「ノーコード」でシステムを開発できるアプリケーション開発ツールです。

< PRea ST-150の主な特長>

1. 軽量ボディーと操作性の向上

- ・140gの小型軽量ボディーと握りやすいサイズ感により、長時間使用での負荷を軽減し、ブラインドタッチに配慮したキー形状を採用することで操作性を向上させました。手袋を付けたままでも使いやすいボタン設計とともに、背面に滑り止めパターンを採用し、端末の落下を防止します。

2. Windows CE OS 搭載

- ・「Windows Embedded Compact 7」を搭載しているため、現在お使いのWindows CE系アプリケーションの移行がスムーズかつ、低コストで行えます。

3. 抗菌対応

- ・複数の人が共有して端末を利用することが想定されるため、本体表面のプラスチックに菌の繁殖を防ぐ抗菌素材を採用しました。

< KNToolの主な特長>

1. 低コストでアプリケーション開発

ハンディターミナルの導入にあたって、最も高いハードルとなるのがアプリケーション開発コストです。“KNTool”では「PRea STシリーズ」*のアプリケーションを低コストで開発できるため、ハンディターミナル1台からの導入も実現します。

※“KNTool”で開発したアプリケーションは“PRea ST-300”と“PRea ST-150”で動作します。

2. 短期間で導入を実現

通常、業務アプリケーション開発には長い期間が必要となりますが、“KNTool”の利用により、お客さま自身で業務に応じたアプリケーション開発ができ、開発工数を短縮します。

3. ドラッグ & ドロップで簡単アプリ作成

プログラミングのスキルを必要とせず、ドラッグ&ドロップで直感的に操作することができるため、簡単にアプリケーション開発ができます。また、複数の業務用テンプレートを用意しており、そのまま活用することも可能です。

製品名	価格(税別)	発売日	国内販売計画
PRea ST-150	オープンプライス	2020年9月7日	8,000台/年

製品名	価格(税別)	発売日	国内販売計画
KNTool	100,000円	2020年9月7日	1,000ライセンス/年

-
- 報道関係者のお問い合わせ先：キャノンマーケティングジャパン株式会社
広報部 パブリックリレーションズグループ 03-6719-9093(直通)
 - 一般の方のお問い合わせ先：キャノンマーケティングジャパン株式会社
エッジソリューション企画部 ハンディターミナル企画課
03-6719-9847(直通)
 - キャノン ハンディターミナル ホームページ：canon.jp/ht
 - ニュースリリース ホームページ：canon.jp/newsrelease/
-

< ST-150主な製品仕様 >

製品名	ST-150	
CPU	ARM Coretex	
OS	Windows® Embedded Compact7 ※1	
メモリー	256MB RAM / 256MB FLASH DISK ※2	
補助記憶装置	USB メモリー(クレードル経由で接続)	
表示部	使用素子	2.4型 TFT カラー LCD (バックライト付き)
	画面表示ドット数	240×320 ドット (QVGA)
	その他	3色 LED×1
入力部	キー入力	十字キー(4方向上下左右キー)、スキャンキー、ファンクションキー×5、ENTキー、クリアキー、テンキー(0～9)、「.」、 「-」 、L、R、電源キー(UD フォント採用)
スキャナー部	読取方式	半導体レーザー
	読取距離 / 分解能	60～130mm(分解能 0.127mm)、60～900mm(分解能 1.0mm)
	適用コード	UPC A/E、EAN/JAN-8、EAN/JAN-13、Code128 (GS1-128)、Code39、Code93、ITF、DTF、CODABAR (NW-7) MSI、GS1-DataBar
インターフェース	無線 LAN	IEEE802.11 a/b/g/n
	Bluetooth	Bluetooth® Ver 2.1 + EDR ※3
	USB	USB OTG ※通信クレードル使用時
	その他	スピーカー、バイブレータ
電源	主電池	充電式リチウムイオン電池 BA-50 (1,200mAh)
	運用時間	約12時間※4
耐環境性	防水・防塵性能	IP54 準拠※5
	動作温度・湿度	動作 -10～50℃、5～90% / 保存 -20～60℃、5～95% ※6
	落下衝撃	1.5m コンクリート落下(6面×5サイクル合計30回) 動作保障※4 30cm コンクリート落下×1,000回メモリー保証※4
外形	寸法	幅55.5 (47.0) mm×長さ157.4mm×高さ35.9 (20.9) mm ※7
	質量	約140g

※1 Windows Embedded Compact operating system は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※2 一部管理領域を含みます。

※3 Bluetooth はその権利者が所有している商標であり、キヤノン電子株式会社はライセンスに基づき使用しています。

※4 当社規格試験による。

※5 IEC529に基づいて規定された固形物や水に対する異物侵入保護等級表示のことです。

塵埃に対する保護レベル：5 (粉塵が内部に侵入せず、若干侵入しても正常運転を阻害しない) と水に対する保護レベル：4 (いかなる方向からの水の飛沫を受けても有害な影響がないもの) を持ち合わせています。

※6 結露なきこと。

※7 突起部を除く。

*記載されている製品名などは一般に各社の登録商標、商標です。

< KNTool 主な開発環境 >

推奨 PC スペック	メモリー：8GB 以上 ディスク空き容量 1GB 以上
推奨ディスプレイ(解像度)	1920×1080 以上
動作 OS	Windows 10 (64bit)
対応機種	PRea ST-300、PRea ST-150



(左から) KNTool と PRea ST-150、PRea ST-300